

高齢社会活動の先行的事例

◎「未来都市構想」内閣府

◎「RISTEX 15プロジェクト」

◎プラチナ大賞

◎プラチナ大賞

プラチナ大賞運営委員会（プラチナ構想ネットワーク）

未来のあるべき社会像として描く「プラチナ社会」は、成熟社会における成長の一つのモデルであり、日本が先進国として直面する課題の解決と、新たな可能性の創造によってもたらされる、豊かで快適でプラチナのように威厳をもって光り輝く社会です。

「プラチナ社会」の必要条件。

- ・エコロジーで（人間にとって快適な自然環境の再構築、環境との調和・共存）
- ・資源の心配がなく（エネルギー効率の向上、自然エネルギー活用、物質循環システムの構築）
- ・老若男女が全員参加し（生涯を通じた成長、社会参加の機会創造、健康で安心して加齢できる社会）
- ・心もモノも豊かで（文化・芸術に彩られた暮らし、飽和・停滞を打破する「限界を超えた成長」）
- ・雇用がある社会（イノベーションによる新産業の創出）

審査委員会

委員長 吉川 弘之

元東京大学総長、東京大学名誉教授、産業技術総合研究所最高顧問、
日本学術振興会学術最高顧問

副委員長 吉川 洋

東京大学大学院経済学研究科教授

委員 秋山 弘子

東京大学高齢社会総合研究機構特任教授

西條 都夫

株式会社日本経済新聞社 編集委員兼論説委員

増田 寛也

株式会社野村総合研究所顧問、元総務大臣、前岩手県知事

松永真理

松永真理事務所代表、テルモ株式会社社外取締役

箕輪 幸人

株式会社フジテレビジョン取締役・報道局長

第一回プラチナ大賞最終審査発表会（発表順）

平成25年7月25日 最終審査発表会 都市センターホテル

No 団体名 取り組み名

- 1 香川県 特別賞
かがわ遠隔医療ネットワーク「K-MIX」を活かした遠隔・在宅医療の推進
- 2 雲南市 特別賞
小規模多機能自治による持続可能型“絆”社会の構築
- 3 上勝町 優秀賞
ゼロ・ウェイスト政策から考えるサニテーションシステム
- 4 柏市 特別賞
柏市における長寿社会のまちづくり
- 5 海士町 大賞 総務大臣賞
魅力ある学校づくり×持続可能な島づくり～島前高校魅力化プロジェクトの挑戦～
- 6 東松島市 プラチナ・イノベーション賞
東松島式震災ごみリサイクル（東松島方式震災がれき処理）
- 7 富山市 優秀賞
コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築～ソーシャルキャピタルあふれる持続可能な付加価値創造都市を目指して～
- 8 徳島県 優秀賞
とくしまサテライトオフィスプロジェクト～地域再生のための新たな戦略～
- 9 最上町 プラチナ・イノベーション賞
サステイナブルタウン最上～木質バイオマスエネルギーが地域産業を興す～
（124件のエントリーから）

第二回プラチナ大賞最終審査発表会（発表順）

平成26年7月22日 最終審査発表会 都市センターホテル

No 団体名 取り組み名

- 1 ヤマトホールディングス株式会社 大賞 総務大臣賞
地域に密着したヤマト流CSV「まごころ宅急便」
- 2 自治医科大学 優秀賞
スマートヘルスケアシティ 天草から始まる安心安全で豊かに成長する街づくり
- 3 埼玉県 審査委員特別賞
世界に羽ばたくグローバル人材の育成
- 4 流山市 審査委員特別賞
流山市における真のコアコンピタンス経営～公共施設マネジメントにおける挑戦～

- 5 東日本旅客鉄道株式会社 審査委員特別賞
「COTONIOR（コトニア）吉祥寺」～子どもたちとシニア世代の交流～
- 6 横浜市、東京急行電鉄株式会社 審査委員特別賞
「次世代郊外まちづくり～郊外住宅地の再生モデルの構築～」
- 7 下市町 優秀賞
「らくらく」で、プラス10年イキイキ元気！ 働く老若男女が笑顔で集う町 下市町
- 8 香川県 審査委員特別賞
世界をリードする香川の希少糖
- 9 豊田市 優秀賞
「自立×つながり」でシニア世代を地域の担い手に！「ミライのフツー」な自治モデル
- 10 北九州市 大賞 経済産業大臣賞
都市間連携を通じたアジアのグリーンシティ創造
(58件のエントリーから)



平成 26 年 7 月 23 日

第2回プラチナ大賞にて「まごころ宅急便」の取り組みが大賞および総務大臣賞を受賞

ヤマトホールディングス株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長 木川 眞）では、このたびプラチナ構想ネットワークとプラチナ大賞運営委員会が主催する「第2回プラチナ大賞 最終審査発表会・表彰式」において、ヤマトホールディングスの「地域に密着したヤマト流CSV・まごころ宅急便」が大賞および総務大臣賞に選ばれましたのでお知らせいたします。

記

1. プラチナ大賞について

- (1) 主催 プラチナ構想ネットワーク、プラチナ大賞運営委員会
- (2) 目的 イノベーションによる新産業の創出や、アイデア溢れる方策などにより社会や地域の課題を解決している自治体や企業などの取り組みを表彰し広く社会に発信し、更なる広がりにつなげる。
- (3) 概要 全国の自治体や企業などによる計58件の応募の中から、1次審査によって選ばれた10団体が最終審査発表会に参加。プラチナ大賞審査委員会が「ビジョンの共有」や「マルチステークホルダーの協働」など7項目のポイントについて

審査し大賞・優秀賞を決定。

【参考】 プラチナ構想ネットワークホームページ

<http://www.platinum-network.jp/pt-taishou/index.html>

2. 受賞内容について

7月22日に東京都千代田区で開催されたプラチナ大賞最終審査発表会において、ヤマトホールディングスが「地域に密着したヤマト流 CSV・まごころ宅急便」の取り組みについて発表し、大賞に選ばれ併せて総務大臣賞を受賞しました。

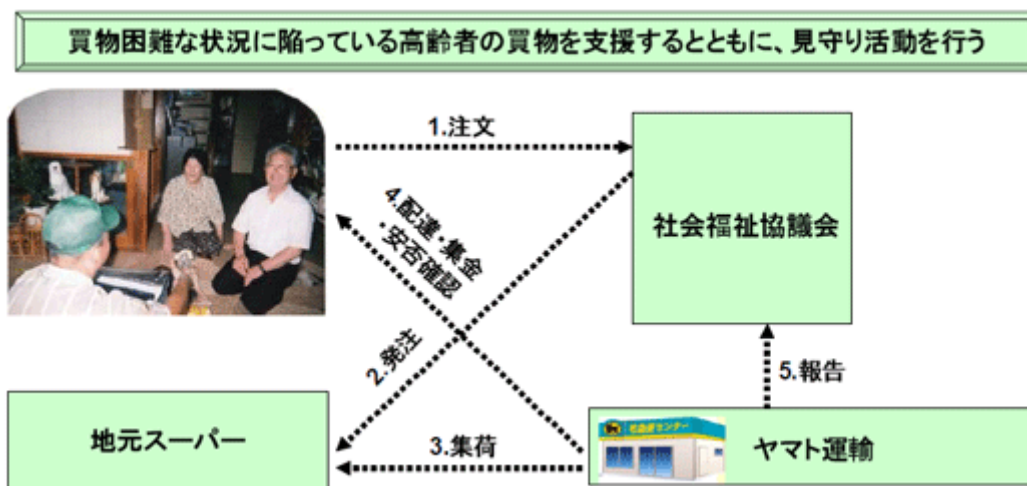


〈表彰式の様子〉

左から、総務大臣 新藤義孝様、ヤマト運輸岩手主管支店営業企画課課長 松本まゆみ、ヤマトホールディングス代表取締役社長木川眞、ヤマト運輸岩手主管支店長 富田芳正、プラチナ大賞審査委員長 吉川弘之様、プラチナ構想ネットワーク会長小宮山宏様

【参考:「まごころ宅急便」の取り組みについて】

岩手県西和賀町・大槌町などで実施している、買い物支援と見守りを組み合わせた地域独自の取り組みです。（社会福祉協議会・地元スーパーと連携）



【お問合せ先】

ヤマトホールディングス広報戦略担当 山口・山本 電話:03 - 3541 - 3411